

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	千葉県	市町村名	富里市	大学名	
派遣日時	令和 7年 7月10日(木曜日) 14:00~16:00				
実施方法	派遣 / 遠隔 ※いずれかに○をつけてください。				
派遣場所	富里市役所 すこやかセンター 3階 研修室				
アドバイザー氏名	横浜市立横浜吉田中学校副校長 土屋 隆史 様				
相談者(受講者)	富里市教育委員会 学校教育課				
相談内容等	<p>○日本語指導に係る運営体制の構築について 日本語指導を市内で行っていくにあたってどのような運営体制を築いていったら良いか。</p> <p>○日本語指導の基礎となる指導事項について 個に応じた指導が必須ではあるが、日本語指導のスタートカリキュラムとしてどのように行っていくべきか。</p> <p>○現在、指導資料として公益財団法人三重県国際交流財団発行の「みえこさんのにほんご」凡人社発行の「ひろこさんのたのしいにほんご」を利用しているが、効果的な指導資料や方法を御教授いただきたい。</p>				
派遣者からの指導助言内容	<p>土屋先生からは、横浜市立横浜吉田中学校での状況や対応について紹介しながら、横浜吉田中学校の日本語指導体制、プレクラスについてや、どのような人材の協力で日本語指導を行っているかなどについて具体性にお話いただいた。日本語指導をどの先生も困ることなく進めることができるように、また、全職員で指導を行っていくように「国際教室関係資料一覧」を作成し、入れ替わりの激しい教育現場でも同じように体制を作っていくように整えたことを紹介していただいた。</p> <p>本市では、担任をはじめ、日本語指導ボランティアや市の会計年度職員など、たくさんの立場の職員が連携して指導にあっている。しかし、多忙を極める教育現場では、なかなか連携のためのコミュニケーションの場をもつことが難しい。そこで、先生からは、初期段階から日本語指導に活用できる教材を紹介していただいた。共通の教材を使うことで、どこまで指導を行ったのか、どのようなつまづきがあるのかわかるようになる、学年が変わっても、実態を把握することに役に立つとのことであり、大変参考になった。</p> <p>また、日本語の音声だけでは理解につながりづらく、具体的なイメージをもたせることが重要であり、丁寧でわかりやすい学習が大切だとの御指摘をいただいた。通常行う授業に通ずるものであり、自らの指導を顧みる機会をいただいた。当たり前でできると考えてしまうことが、実は難しいのだということ念頭に置き、どの子にも「できる」を増やし、達成させる、喜びを感じる場面を増やしてあげることが日本語の習得の近道になるとのことであった。</p> <p>母語の大切さについても御説明いただいた。子どもたちは母語を使って物事を考え</p>				

(様式3)

	<p>る。日本語指導のゴールとしては日本語を使って物事を考えることができることであるが、母語が確立していないと、二つの言語を同時に覚えていくようになってしまい、母語も外国語も使うことができないダブルリミテッドと呼ばれる状態になってしまうことを指摘していただいた。</p> <p>先生のお話の中に、日本語指導を受けていた子どもたちの思いをもっていたのか、紹介していただいた場面があった。「日本語で良いから話しかけて欲しい」との言葉があり、言葉がわからず、誰からも話しかけられない状況における大きな寂しさを想像させられた。日本語指導を必要としている子どもたちは、大きな不安や困難を抱えているはずである。周囲とコミュニケーションをとることができ、学習で「わかった」「できた」を増やしていくことで毎日を楽しみと思えるようにしていきたい。</p>
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<p>本指導を受けて、連携の強化を図るために使うことができる教材の選定を考えている。先生のお話のなかにあった教材を確認させていただき、必要に応じた導入を検討していく。これまで通りの情報共有は行いつつも、指導者の入れ替わりや進級・進学で、環境が変わる際にも、日本語指導の段階や指導している内容がわかるようにしていきたい。</p> <p>また、本市にはたくさんの外国籍の方が在住している。現在、広く学校支援ボランティアを募集しているところではあるが、登録日本語指導の人材として、発掘し、登録が行える体制を考えていきたい。</p> <p>今回の内容を受けて、本市で行っている日本語指導担当者会議において伝達し、指導者間の連携充実、指導体制の強化を図っていきたい。</p> <p>また、今回は、助言という形でお話いただいたが、日本語指導を必要としている児童生徒が増加傾向にある本市で、先生方の日本語指導に対する意識を高めることができるように、次年度は市内職員への研修という形で、講話いただければと考えている。</p>

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。